

「福祉・介護のお仕事」ガイドブックの活用の一例(小学生版)

この活用例は、総合的な学習で「福祉」を取り上げ、介護施設でのボランティア活動や高齢者との交流体験、福祉に関する探究活動などを行う前に、身の回りにある福祉や高齢者の介護について学習する際に活用する案の一例です。

今回ガイドブックを配布する対象は小学4年生ですが、他の学年で使用される場合は、[石川県ホームページ](https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/miryoku/miryokutop.html)(<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/miryoku/miryokutop.html>)や、[石川県介護・福祉の仕事の魅力発信ポータルサイト「いしふく」](https://www.ishi-fuku.jp/info/347/)(<https://www.ishi-fuku.jp/info/347/>)に掲載されているPDFのデータを適時ご利用いただけると幸いです。

【活用の一例】

ページ番号	見出し	活用例	趣旨
1 2	1 わたしたちが暮らすまち	まずはイラストを児童に見てもらい、身のまわりにどんな工夫があるかを考えてもらう グループやクラスで話し合う(他の人の意見を聞くことで気づきを得る)	福祉とは、「幸福」や「公的な援助やサービスによる生活の安定、充足」を意味する。 誰でも安心して満ち足りた生活を送ることができるよう、まちなかに整備されている福祉関連設備や施設、サービスについてイラストを利用して話し合い、身近なところに福祉があることを実感させる。
3	2 日々の暮らしを支える工夫	P1,P2のイラストと関連づけて暮らしを支える道具や工夫について説明 イラストにないものを児童に考えてもらう ※ページ左下 吹き出し グループやクラスで話し合う	
4	3 日々の暮らしを支える人	P1,P2のイラストと関連づけて暮らしを支える人を紹介 自分たちにもできることを考えてもらう ※ページ中央 太文字 グループやクラスで話し合う	
5 6	4 介護について考えよう ①高齢者の体の変化を知ろう	高齢者の体の変化を理解してもらい、高齢者に対する思いやりの心や介護の重要性について実感させる	
7	4 介護について考えよう ②高齢化について考えよう	高齢化の進行とひとり暮らし高齢者の増加をグラフで表示し、今後高齢化が進むとどうなるかを考えてもらう ※ページ上 太文字 グループやクラスで話し合う 高齢者のすごいところを知ってもらい、高齢者に対する尊敬の心をはぐくむ	高齢者福祉の大きな部分を占める「介護」について話し合う。 高齢者と自分の関わりについて意識したうえで老化による高齢者の体の変化を理解し、高齢者に対する思いやりや尊敬の心をはぐくむ。 また、高齢化の進展や高齢者の暮らし方の変化などについて話し合うことで、次ページ以降の内容(介護の仕事の必要性・重要性)につなげる。
8 9	5 介護の仕事 ①介護職員の仕事	前ページを踏まえ、介護の仕事の必要性・重要性を解説 介護の仕事内容を紹介 ※ 何でもやってあげるだけの仕事ではなく、1人ひとりに合わせて手助けすることで、高齢者ができることを増やし、よりよい生活を一緒に作る仕事であることを強調 身のまわりの手助けだけでなく、高齢者の人生が充実したものになるよう、さまざまなレクリエーションなども行う幅広い仕事であることを解説 「介護の力で夢をかなえる」の箇所、実際のエピソードを児童に知ってもらうことで、介護の仕事の夢ややりがいを知ってもらう	介護職員の仕事の内容や働く場所について理解し、話し合うことで、体験活動を行う上での意識づけや探究活動の課題設定などにつなげる。
10	5 介護の仕事 ②介護職員の働く場所	介護職員の働く場所について代表的なものを解説、働き方も多様であることを知ってもらう	
裏表紙	介護施設を見てみよう	実際の介護職員の仕事の様子、仕事に対する思いを紹介	
		最後にまとめとして感想を書き、話し合う(自分の考えがどう変わったか等)	